

平成 30 年北海道胆振東部地震 調査

調査日：9 月 6 日（木）10 時～17 時

調査者：苫小牧工業高等専門学校 中村努、所哲也

調査範囲：苫小牧市、厚真町、安平町

(1) 苫小牧東部地域臨海臨港地区



概要

苫東厚真発電所、合同酒精付近の道路で液状化の被害が発生。複数の噴砂を確認。道路にも複数の亀裂あり。



(2) 道道 235 号線 厚真町朝日

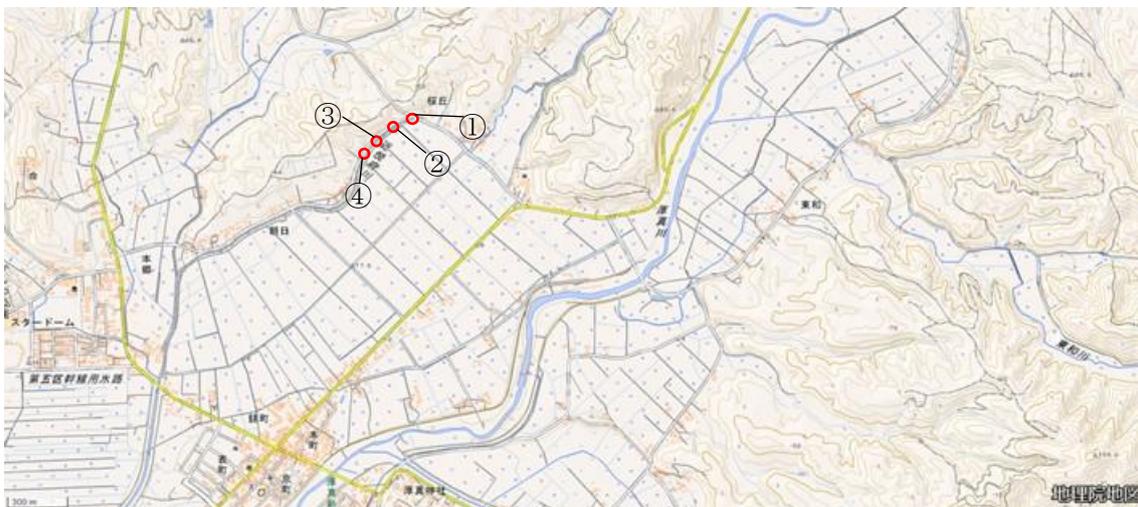


概要

大規模な土砂崩れが発生している吉野地区の南側に位置する。9月6日13:00時点では、車両通行止めとなっており。畦道より土砂崩れを撮影。崩落土砂が道路を完全に覆っており、吉野地区方面への通行は不可能であった。



(3) 厚真町桜丘



概要

住宅地背面の斜面で複数の斜面崩壊が発生。崩落土が道路、河道を閉塞している。

①道路の陥没、道路脇斜面崩壊



②住宅背面の斜面崩壊、河道閉塞



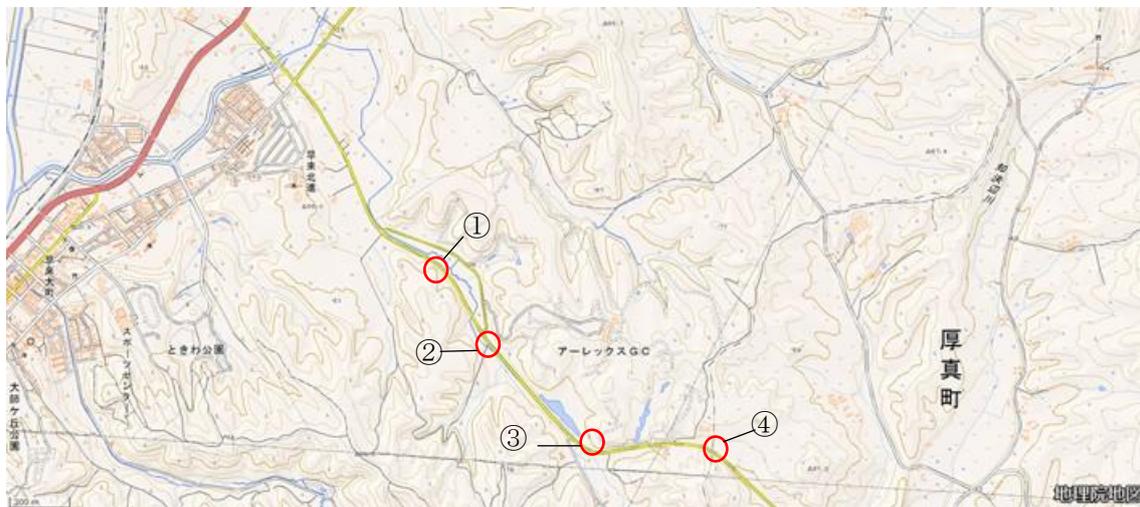
③住宅背面の斜面崩壊



④崩落土による河道閉塞



(4) 道道 10 号線 安平町早来北進



概要

道道 10 号を安平町から厚真町に向かうに従い、道路の陥没、クラック目立つようになり、斜面崩壊も道路沿線で複数発生。すべり面、崩落土を見ると支笏、樽前を起源とする降下軽石が確認される。9月6日の16:00時点では、道道10号は④の箇所では通行不可。

② 舗装のクラック



②斜面崩壊（15:50 時点、道路上の土砂は撤去済み）



③斜面崩壊



④斜面崩壊（16:00 時点，崩落土砂により厚真方面へ通行不可）

